

ページ	質問議員	質問事項
11	藤原 義春	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニューシャトルの脱線事故の住民説明会を</li> <li>●収税部門について</li> <li>●伊奈町出身者の活躍の周知を</li> <li>●部活動の外部指導者の増員</li> </ul>
12	水上 邦雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●視覚障害者の「65歳問題」</li> <li>●農業再生への道</li> </ul>
12	村山 正弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バラ公園一考</li> <li>●パブリックコメント一考</li> <li>●中部特定土地区画整理地町名</li> </ul>
13	栗原 恵子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際交流の推進について</li> <li>●2025年問題、後期高齢者の増加に伴う訪問看護について</li> <li>●伊奈町農業戦略マスタープランについて</li> </ul>
13	戸張 光枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児健診における小児がんの早期発見について</li> <li>●性別に関係なく制服を選択可能に</li> <li>●子育てを応援する行政サービス</li> </ul>
14	青木 久男	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あってはならない児童虐待</li> <li>●町内3中学校の大(小)規模化について</li> <li>●町制施行50周年事業について</li> </ul>
14	奥田とみ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康増進促進事業について</li> <li>●児童虐待を防ぐために</li> </ul>
15	上野 尚徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊奈町の消防・救急能力の維持向上。北部への分署設立への取り組みを</li> <li>●ニューシャトルの定期券への補助等で人口流出対策、労働力人口の確保を</li> </ul>
15	五味 雅美	<ul style="list-style-type: none"> <li>●河川環境の推進を</li> <li>●交通標識のない交差点での交通事故対策を</li> <li>●町基金積立の基準は</li> </ul>
16	齋藤 照夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町制施行50周年記念事業にむけて</li> <li>●小中学生の通学路の安全確保について</li> </ul>
16	中原 敦子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校防災マニュアルと防災教育</li> <li>●児童虐待防止対策の市町村の体制強化について</li> </ul>
17	上野 克也	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレミアム付商品券事業について</li> <li>●投票率向上に向けた町の取組について</li> </ul>
17	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり暮らし等により死後の葬儀や納骨先などに不安を抱える方々のために</li> <li>●ごみの減量化、リサイクルの推進に向けて</li> <li>●中学校の制服に多様性を認めることと経済的負担の軽減</li> </ul>

一般質問  
そこが聞きたい  
13人が登壇

議員が町政全般について、町長以下町職員（執行部）に問い質します。

3月定例会は、13人の議員が質問しました。

主な質疑応答を、質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(6月上旬掲載予定)

伊奈町議会 検索

ニューシャトルの脱線事故の住民説明会を



ふじはらよしはる  
藤原義春 議員

**問** ニューシャトルの脱線事故を受けて、利用者である住民に説明会を開くよう、働きかけるべきではないか。

**答** 町から住民説明会の要請は行わない。埼玉新都市交通に対しては、公共交通を担う鉄道会社の

責務として、安全かつ安定した運行を第一とする旨、今後も強く要請する。

**問** 収税率向上のための努力に、どのような努力をしているのか。

**答** 納税者の利便性の向上のために、コンビニエ

ンスストアでの納付、いつでも、どこでも納付可能なスマートフォンアプリの導入など、納税環境の整備を図っている。また、伊奈町は過去から累積した滞納繰越案件からの率が非常に高く、この案件を1件ずつ地道に処分している。

**伊奈町出身者の活躍の周知を**

**問** 伊奈町出身者の活躍をもっと周知すべきでは



我々住民がよく利用するニューシャトル

**答** 平成30年2月号から広報いなりのリニューアルの新コーナーとして、伊奈町ゆかりの人物のインタビュー記事をカラーページに掲載している。また、地域情報ポータルサイト「いなナビ」と連携し、広報いなでは掲載しきれなかった写真やインタビューの全文を公開している。

障がい者の「65歳問題」、サービスの継続を



みずかみにお  
**水上邦雄** 議員

**問** 視覚障がい者の状況は。

**答** 視覚障がい者、障害者手帳取得者70人。障害サービス利用者11人、介護サービス利用者20人。

**答** 障がい者で65歳になると介護保険制度の利用となるが、障害サービス固有のサービスは引き続き利用可能。また介護保険制度への移行で原則1割負担になるが、今年度から障害サービスを無料で5年以上利用していた

継続を。



農作業の準備が始まります

などの条件に該当すれば、従来通り負担なく利用が可能となった。

**農業再生へ**

**問** 新規就農者への支援を。

**答** 町の新規就農者は10年間に6人、内4人は非農家からの就農だ。国・町奨励金などの資金支援と連携した技術指導や経営診断など、総合的なサポート体制をとっている。公募やシルバー世代からの人材確保、勉強会や経営相談での育成、若手生産者のグループ化を進める。

**問** 丸の内地区でのブドウ栽培の現状と今後は。

**答** 現在栽培者はいない。町がブドウ園を借受け取り組んでいる。栽培を学びたいとの要望もあり、地域活性化、町の原風景として後世に残したい。

バラ園運営を多くの町民が憩う場にすべきだ



むらやまさひろ  
**村山正弘** 議員

**バラ園運営と休憩所**

**問** まつり期間中の町民の入園者が約3千人で、全体5万人の6%である。

**答** 町民の入園者を増やす事を目標にすべきだ。

**問** 広報いなどで無料招待券を2人配布、マイナンバーカード持参者を無

料とした。広報等でPRし、入園者を増やしたい。

**問** 休憩所用地を購入したが設置の構想は。

**答** 将来は、通年の都市公園施設としたい。

**問** バラ園の管理運営をシルバー人材センターの指定管理にしようか。

**町民コメント制度**

**問** 今までの47件の応答数は、0〜1件が42件であるので、応答数を増やす工夫をすべきだ。

**答** アンケート、説明会、広報、ホームページの掲載等々を行っている。町民コメントは、計画の事実、政策形成の意見集約の一つの方策として行っており、当面は現状通り実施していく。

**新町名に再考を**

**問** 中部区画整理地の新町名を「中央」と選定したが、隣接の「中央区」と重なるので行政区名は除外し再考すべきだ。

**答** 町名選定委員会で提案のあった「いな中央」と「中央」を協議し、「中央」を町名と選定した。



バラ園隣接休憩所用地340坪

国際化の進展と国際交流協会の設立にむけて



くりばらけいこ  
栗原恵子 議員

問 国籍、文化、生活習慣など異なる人々が、お互いを理解していくための交流の場として国際交流協会の設立を。

答 上尾市では、市民レベルでの交流活動を積極的に進めることを目的に協会が設立されている。

伊奈町国際交流協会の設立については、上尾市をはじめ近隣市を参考に研究していく。

看護師不足対策

問 桶川・北本・伊奈地区医師会立准看護学校を卒業後、正看護師を目指し進学する学生に2市1



若い農業就農者の育成は町の急務、安心して農業に打ち込める環境を

町が協力し奨学金制度の創設を。

答 医療・介護分野における従事者の確保は、2市1町の共通の課題。地区医師会からも要望があり、その制度設計等を確認し、桶川市や北本市と連携して、しつかり対応したい。

伊奈町農業戦略マスタープランについて

問 新規就農者とUターン就農者との間で国や町の支援に違いがあるのか。

答 Uターン就農者も、非農家から新規就農した方と同様、国の農業次世代人材投資資金および町の新規就農者奨励金の対象となる。なお、国の投資資金のUターン就農者への交付要件には、農地の所有権を本人名義にするなどの要件があるが、町の奨励金についてはない。

小児の死亡原因、第二位は小児がん



とばりみつえ  
戸張光枝 議員

問 早期発見のために、当町の取り組みは。

答 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診時、保健師による母親への問診を行い、医師の診察時は、視診・触診・聴診を実施している。今後も健診時に於ける疾病の早期

発見に努め、保護者へは病気の発見方法について広報やホームページ、健診等を通じて周知する。

子育てを応援

問 育児用品のサポートを

答 子育てグッズレンタルをしているか。

当の給付等、経済的支援を行っている。

問 経済的負担の大きい子乗せ電動アシスト自転車の貸し出し事業を。

答 一度検討したが財政的負担やメンテナンスや事故時の保険の問題があり、現時点では難しい。

性別に関係なく制服を選択可能に

問 性的少数者の人権課題の具体的な取り組みは。

答 12月の人権月間中にDVD視聴や教職員研修等がある。

問 近隣市や県内の公立中学で制服を選択制にしている。率直なご意見は。

答 性的少数者への配慮や女子の防寒対策等取組は共感できる。

問 今後の検討課題は。

答 各学校の創意工夫、教育活動を大切にした上で、生徒・保護者等の意見を反映する必要がある。



子育て世代をサポートする事業。一時期しか使用しない物や高額な育児用品が貸し出しされるのはとても有難いことです

後世に残るほどの記念事業を



あおき ひさお  
青木久男 議員

**問** 50周年記念事業はいろいろ検討されているが、過去の周年事業にどのようなものがあったか。

**答** 各種イベント等の冠付けのほか平成22年の町制40周年には、総合センターを会場に「出張！なんでも鑑定団 in 埼玉・

伊奈」やNHKラジオ「歌の日曜散歩」公開生放送などが行われた。平成12年の30周年では、町民の皆様が描いた絵や写真を展示するニューシャトル「いな・夢・未来号」の運行や伊奈中央駅前広場へのイルミネーションの

設置など。平成2年の町制施行20周年では、町の花に「バラ」、町の木に「モクセイ」を指定し、その他講演会や記念品の制作等を実地した。

**問** 目下、伊奈忠次公顕彰事業が町おこしの目玉となりつつある。この時期の記念事業として最もふさわしいのは、歴史を後世に残し、ずっとその功績をたたえていく歴史資料館などを現地に数年

がかりでも良いから建設することだと考えるが。

**答** 忠次公の歴史は400年に遡る。それを理解してもらい、ふるさと意識を持ってもらうことは極めて大事だ。

そんななかで今、話のあったようなハード物を作るのが一番分かり易い。50年後にも残るものを作ることも大切だと思うのでしっかりと検討していく。

虐待から子どもの命を守るオレンジリボン運動  
虐待通報・相談「189」いちはやくは24時間受付対応、  
通話料金も無料になります  
全国共通ダイヤル「189」で見守りを



**問** 風疹感染拡大防止対策について、今なお全国で感染が拡大していることを受け、国は、補正予算を計上し、定期接種の機会がなかった男性39、56歳を対象者に、抗体検査とワクチン接種を全国無料で実施すると発表し

た。国の方針を受け、町は風疹対策をどのように強化し、実施していくのか。

**答** 対象者（昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）の3100人に対して、抗体検査クーポンを発送する。受診は



おくだ ともこ  
奥田とみ子 議員

全国の取り組みになることから、伊奈町以外の区域でも接種できる。夜間・休日の受診は、医師会と協議し環境を整えていく。更に、3年間の時限措置のため、広く周知していく。

児童虐待を防ぐために

**問** 千葉県野田市の児童虐待事件を受け、国は再発防止に向け、抜本的対策を打ち出した。虐待と疑われる全てケースに1か月を目地に行った緊急安全確認の結果は。

**答** 平成29年度の虐待通告件数は69件。調査対象児童は、継続指導中の在宅児童。県の児相調査で2人の児童が安全確認。町の児童虐待対策強化は、児童福祉司の複数配置、家庭総合支援拠点の早期設置、関係機関との連携強化、見守り体制を図る。

健康増進促進事業について



歴史のある伊奈氏屋敷跡散策路

ニューシヤトル・定期券への補助で、働き世代の確保を



うえの なおのり  
**上野尚徳** 議員

**問** 生産年齢人口の流出防止、流入増加による町税・収入の維持等で還元を狙える、ニューシヤトル・定期券への助成金を。答 さいたま市や上尾市も行っていない。現段階では補助は考えていない。 **問** 最も利があるのが伊

奈町。試験的に高校生に限定した補助を行ってみては。

**答** 運賃の低額化や補助はあらゆる交通機関に係る問題。現段階では、ニューシヤトルに特化した補助は考えていない。 **町の一番重要な責務は、**



上尾市との消防の広域化と消防指令センター運営現況に則した修正、条件改善に向けた再協議を

**町民の生命を守ること**

**北部分署は最優先事業**

**問** 国の定める消防車両走行限界エリアは2・7km。

伊奈学園、小針小が目安。内宿駅3・5km。北部工業団地5km。エリア外に住む町民は約1万5千人。消防救急の隙間の改善を。 **答** 大きな渋滞も無いため到着が遅れ災害が拡大する事案は発生していない。上尾市との広域化に併せ計画していきたい。

**問** 国の指針に近づける責任がある。広域化も5年近くあまり進展がない。助けられる命を守れなかったとならないように広域化と並行し進めるべき。 **答** 北部分署が課題の解決となることは指摘のとおりだが、広域化すれば署の北部移設も選択肢となる。広域化が進む事を踏まえ、早急に対応できることを検討していきたい。

交通標識のない交差点での交通事故対策を



ごみ まさみ  
**五味雅美** 議員

**問** 一時停止などの交通標識のない交差点は非常に多く、優先・非優先の関係や路面標示だけではわかりづらい所もある。少なくとも事故の起きたところには速やかな対応を。 **答** 交通規制のない交差

点での交通事故は人身事故で昨年16件起きている。交通規制は公安委員会の判断による。町は、要望するとともにカーブミラーや路面標示などの新増設、立て看板等による注意喚起を行う。



事故現場となった交差点に路面標示をしました

**河川環境の改善の推進を**

**綾瀬川・原市沼川の**

**問** 水質や水生生物の状況は。 **答** 平成14年から住民参加の「綾瀬川クリーン大作戦」を実施、水質も汚濁も環境基準をクリアし、改善が進んでいる。タイリクバラタナゴやイシガイ、タガイが生息している環境は県内でも希少とのこと。一級河川（一部準用河川）で制約があるが、要望して推進する。

**基金の基準は**

**問** 基金の根拠、目的、残高等の基準は。

**答** 基金の設置は条例で定め、法律に基づくものと任意のものがある。減債基金、施設整備基金などは目的をもって積み立て、国保、介護保険の基金は保険料の収入ばらつきから税源を安定させる目的がある。

児童生徒の通学路の安全対策を



さいとうてるお  
齋藤照夫 議員

**問** 各学校として児童生徒の安全対策をどのように指導しているのか。

**答** 特別活動の時間や朝会や集会で、登下校の際の安全について指導している。内容として低学年では「横断歩道の渡り方や自転車の乗り方等」ま

た高学年では「子ども自転車運転免許制度の講習等」を警察や町の協力により実施している。

**問** 休日など児童生徒が自転車に乗る場合ヘルメット着用の義務付けは。  
**答** 道路交通法では、保護者は、児童または幼児



児童生徒が学校に安心して通える通学路の確保を

にヘルメットをかぶらせるよう務めなければならぬとあり学校でもこれに準じ、ヘルメット着用を促している。しかしながら、道路交通法は児童を自転車に乗せる際、保護者がヘルメットを着用

させるよう務めなければならぬとあり、学校ではヘルメット着用を義務付けられる立場にはない。  
**問** 町制施行50周年記念事業に向けて町のイベントなどの計画は。

**答** 今年の10月より一年間を周年記念としてさまざまな事業を実施する。主な事業として・町内循環バス「いなまる」を2台体制で運行・バラ園へ記念アーチの設置・原動機付自転車のご当地ナンバープレートの作成等を考えている。また50周年記念事業実行委員会を立ち上げ、詳細を詰める。

職員の人員配置の状況は



なかはらあつこ  
中原敦子 議員

**学校防災マニュアルと防災教育**

**問** 各小・中学校における、防災マニュアルの整備状況は。

**答** 学校保健安全法により、学校防災マニュアル（危険等発生時対処要領）の作成が定められている

ため、全町立小中学校で整備されている。

**問** マニュアルに基づいた防災訓練を実施しているか。

**答** 地震や火災等に対応するための防災訓練を実施している。  
**問** 防災教育を実施する



子どもたちを守るために、学校防災マニュアルを活用した、日頃の避難訓練が大切です

中で、実感する成果は。  
**答** ある学校では、町の防災無線が流れた際、担任の指示がなくても机の下に身を隠し、自らの身を守る行動ができた。

**児童虐待防止対策の市町村の体制強化**

**問** 児童虐待防止対策の業務は、何人体制で行っているか。

**答** 現在は4人で行っている。他の業務も兼務しながら、児童虐待の対応も担当している状況であるが、児童虐待の相談件数に応じて、必要な職員を配置していきたい。

**問** 地域住民への啓発は。  
**答** 児童虐待？と思っただけで、児童相談所全国共通ダイヤル189（イチハヤク）に電話をしてほしい旨をチラシなどの配布で啓発している。

プレミアム付商品券事業について



うえの こくや  
**上野克也** 議員

**問** プレミアム付商品券は、今年10月消費税率が10%へ引上げる際、低所得者や子育て世帯（0歳〜2歳児）の消費に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として行うもの。伊奈町での具

体的な内容は。また、購入希望者への周知方法は。  
**答** 購入対象者は、平成31年度の住民税非課税の方および平成28年4月2日から本年6月1日まで生まれた子が属する子育て世帯の方。販売単位は、住民税非

課税の方は、券面額2万5千円が2万円、子育て世帯は、券面額2万5千円が2万円。同一世帯内の平成28年4月2日から本年6月1日までに生まれた子どもを乗せた数まで購入可能。使用期間は本年10月から翌年3月までの間。周知は、住民税非課税者へは、お知らせと購入希望申請書を郵送、必要事項を記入し提出していただき、その後、購入引換券を郵送する。子育て世帯へは、お知らせと購入引換券を郵送する。

商品券の販売は直接町が行う予定。

**問** 期日前投票所増設はいるが増設は。  
**答** 本年4月統一地方選で、ウニクス伊奈のパブリックルームに設置する。



期日前投票所  
ウニクス伊奈2F「パブリックルーム」

プラスチックごみ削減へ



おおさわ じゅん  
**大沢 淳** 議員

**問** 容器包装プラスチック分別の実態は。  
**答** 中身の取り除きが不十分なものと容器包装プラスチック以外のごみが混在していることが多い。

軽減するためにも各家庭での洗浄と分別の徹底が必要不可欠。  
**問** 事業系ごみ削減のため今後の対策は。  
**答** 近隣市の状況も参考に内容物の検査方法や指導をさらに強化する。

抱える方々のために  
**問** 終活支援事業の実施を。  
**答** 終活ノートを配布し、終活の準備や終活の仕方など説明する事業を実施する。

**問** 中学校の制服に多様性を認めること  
**答** 男女ともにスカート、パンツスタイル選択制を導入すること。  
**問** 死後の葬儀などに不安を  
**答** 近隣では千葉県柏市、東京都中野区、県内では、新座市や戸田市でおこなっている。



収集した後、もう一度分別しています

理由として性的少数者への配慮や女子のストラップスについては、寒さ対策やズボンのほうが動きやすい等が挙げられている。  
生徒・保護者等の意見を反映する必要がある。今後、学校に対して必要な情報提供をおこないたい。